

自転車活用の促進



株式会社オリエンタルコンサルタンツ 立松秀樹・松井祐樹・大勝友貴・五藤大貴・長井亮也
(中部地方整備局・名古屋工業大学・株式会社オリエンタルコンサルタンツ)

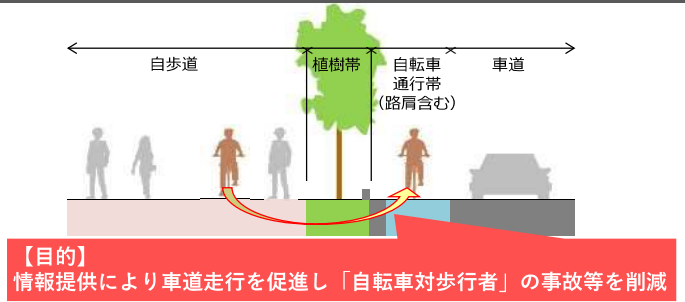
1 背景・課題、目的

背景・課題
自転車関連の死傷事故のうち、「自転車対歩行者」の事故が増加傾向。

目的
自転車通行空間の走りやすさを「見える化」し、情報提供を行うことで、車道走行を促進し「自転車対歩行者」の事故等を削減。

■自転車事故の発生状況

■自転車利用者の行動変容

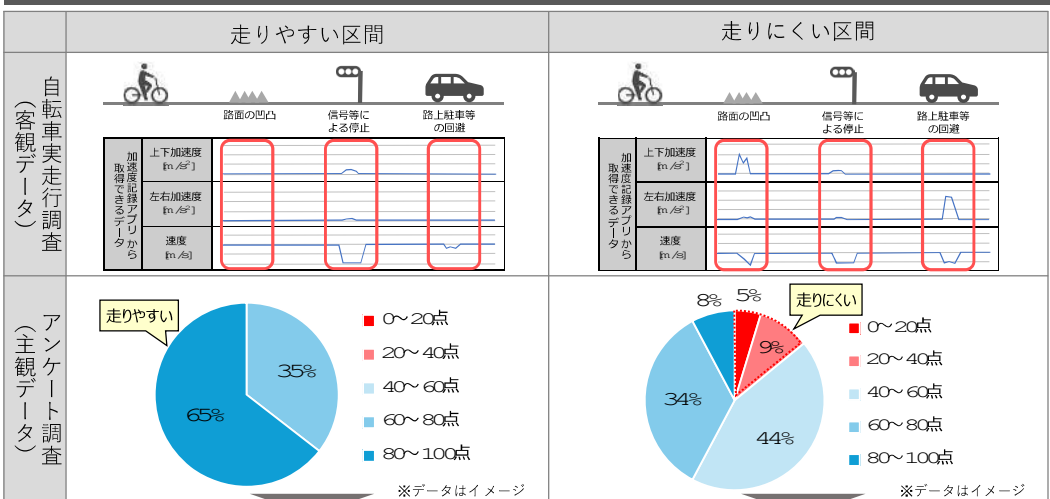


2 自転車の実走行調査 (自転車通行空間における走りやすさの見える化に向けたデータ収集)

・自転車通行空間の「走りやすさの見える化」のため、「路面の凹凸 (上下加速度)」等の客観データを、実走行調査より取得。
・また、被験者にアンケート調査を行い、走りやすさを評価 (主観データ)。

■調査の様子

■取得データ



走りやすさ (主観データ) を客観データを用いて評価する方法を検討

3 成果イメージ

・実走行調査より取得したデータを用いて「走りやすさの見える化」を行い、マップを用いて利用者に自転車通行空間の走行快適性を示すことで行動変容を促進。
・実現のために、道路管理者、民間企業の2者が相互に利益を享受する体制の構築が必要。

■マップによる走りやすさの情報提供 (アウトプットイメージ)

■今後の取組イメージ (民間企業との連携: データ取得・情報提供)

